



平成 18 年 9 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社 大分銀行  
代 表 者 名 取締役 頭取 小倉 義人  
(コード番号 8392 東証第一部、福証)  
問 合 せ 先 総合企画部長 尾渡 秀成  
(TEL . 097-534-1111)

## 平成18年度中間期 業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年9月期（平成18年4月1日～平成18年9月30日）の業績予想（平成18年5月15日公表分）を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 単体業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

（単位：百万円）

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	26,000	6,100	3,700
今回修正予想（B）	26,100	3,300	1,900
増減額（B）-（A）	100	2,800	1,800
増減率（％）	0.4％	45.9％	48.6％
（ご参考） 前期実績（平成17年9月期）	25,357	6,161	3,888

\*上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる結果となる可能性があります。

#### 2. 連結業績予想数値の修正（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

（単位：百万円）

	経常収益	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	31,800	6,500	3,900
今回修正予想（B）	32,100	3,700	2,100
増減額（B）-（A）	300	2,800	1,800
増減率（％）	0.9％	43.1％	46.2％
（ご参考） 前期実績（平成17年9月期）	31,092	6,695	4,018

\*上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる結果となる可能性があります。

### 3. 修正の理由

#### (1) 単体業績予想の修正理由

銀行本業の利益である実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）は、資金の効率的運用や経費節減等により、前回予想比1億円増加して67億円となる見込みであり、一方、与信費用は前回予想比27億円増加して27億円（一般貸倒引当金繰入額 20億円、貸出金償却・個別貸倒引当金繰入額 47億円）の見込みであります。

この結果、経常利益は前回予想比28億円減少の33億円、中間純利益は前回予想比18億円減少の19億円の見込みであります。

#### (2) 連結業績予想の修正理由

連結決算につきましても、経常利益は前回予想比28億円減少の37億円、中間純利益は前回予想比18億円減少の21億円となる見込みであります。

これは、銀行単体の業績修正の影響を受けたものであります。

### 4. 平成18年度通期業績予想

下記のご参考に記載のとおり、通期では平成18年5月15日に公表いたしました金額と比較して、経常収益は上回り、経常利益と当期純利益はほぼ同水準となる見込みです。

なお、平成19年3月期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の業績予想につきましては、11月に予定しております平成19年3月期中間決算発表時に改めてお知らせいたします。

#### (ご参考)

<単体>平成18年度通期業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）（単位：百万円）

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	52,000	11,200	6,900
今回修正予想（B）	53,800	11,400	6,800
増減額（B）-（A）	1,800	200	100
増減率（％）	3.5％	1.8％	1.4％
（ご参考） 前期実績（平成18年3月期）	51,799	11,729	7,705

\*平成18年度通期の与信費用は14億円（一般貸倒引当金繰入額 41億円、貸出金償却・個別貸倒引当金繰入額55億円）を予想し、前回予想比1億円の減少となる見込みです。

<連結>平成18年度通期業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）（単位：百万円）

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	63,600	12,000	7,100
今回修正予想（B）	65,500	12,100	7,000
増減額（B）-（A）	1,900	100	100
増減率（％）	3.0％	0.8％	1.4％
（ご参考） 前期実績（平成18年3月期）	63,307	13,428	8,009

なお、本件に関するお問い合わせは次にお願いたします。  
総合企画部広報調査グループ TEL097-534-1111（内線1570）